

研究のために、あなたのカルテの情報を使用させて頂いております

◎対象となる患者さん：術後再建腸管に合併した胆管結石治療を行った方

1. 研究の題名 『 術後再建腸管における胆管結石に対する新型経口胆道鏡 eyeMAX の使用経験 』

＜研究期間＞ 令和 7(2025)年 3 月 1 日 ～ 令和 7(2025)年 11 月 30 日

2. 利用目的 及び 利用方法

＜利用目的＞ 従来治療困難であった術後再建腸管における胆管結石に対して、9Fr 細径胆道鏡 eyeMAX を用いた治療(EHL: Electronic hydraulic lithotripsy)経験を報告する。

＜利用方法＞ ☒利用 ・ ☐提供

3. 以下の期間に上記(◎対象となる患者さん)を満たした方が対象です

＜対象期間＞ 令和 6(2024)年 6 月 1 日 ～ 令和 7(2025)年 2 月 28 日

4. 本研究で利用する試料・情報について

本研究に関して診療記録から 以下の情報を取得します。

内視鏡処置内容、治療成績、偶発症

5. 利用する者の範囲

取得した情報は、飯塚病院の下記研究代表者 及び 研究分担者において使用します。

若杉晃伸、宜保淳也、内之倉弘和、木村弥成子、野崎哲史、久保川 賢

6. 情報の管理の責任者について

この研究の責任者は以下の者です。研究の成果を学会や論文等で発表する際には名前等を番号や記号に置き換え個人が特定できない様に行います。また、この研究にあたり個人情報の漏洩等がないよう取得した情報等を管理し、患者さんに不利益がない様に責任を持ちます。

＜診療科名または部署名＞ 消化器内科

＜研究代表者名＞ 若杉 晃伸

7. 試料・情報の利用 及び 他の研究機関への提供の停止を希望する患者さんまたはそのご家族等の方へ

この研究にあなたの情報が使用されることを希望されない場合や疑問点などがありましたら、ご遠慮なく下記の連絡先までご連絡ください。お申し出頂いても、患者さんやご家族が不利益を被ることは一切ございませんので、どうぞご安心ください。また、この研究に関する計画書を、研究に支障のない範囲で閲覧することができます。その場合も下記連絡先までご連絡下さい。

＜連絡先＞ 株式会社麻生 飯塚病院 0948-22-3800 (代表)

＜担当者＞ 消化器内科 若杉晃伸